

フクイラプトル

平成26年度 当初予算

福井県

ふるさと福井の新しい扉を開く

- 1 ふるさと福井が放つ「本物」戦略
- 2 活気を導く高速交通時代のまちづくり
- 3 新たな挑戦を生む産業政策
- 4 「幸福共感」、楽しむ福井の暮らし
- 5 未来に希望の人づくり



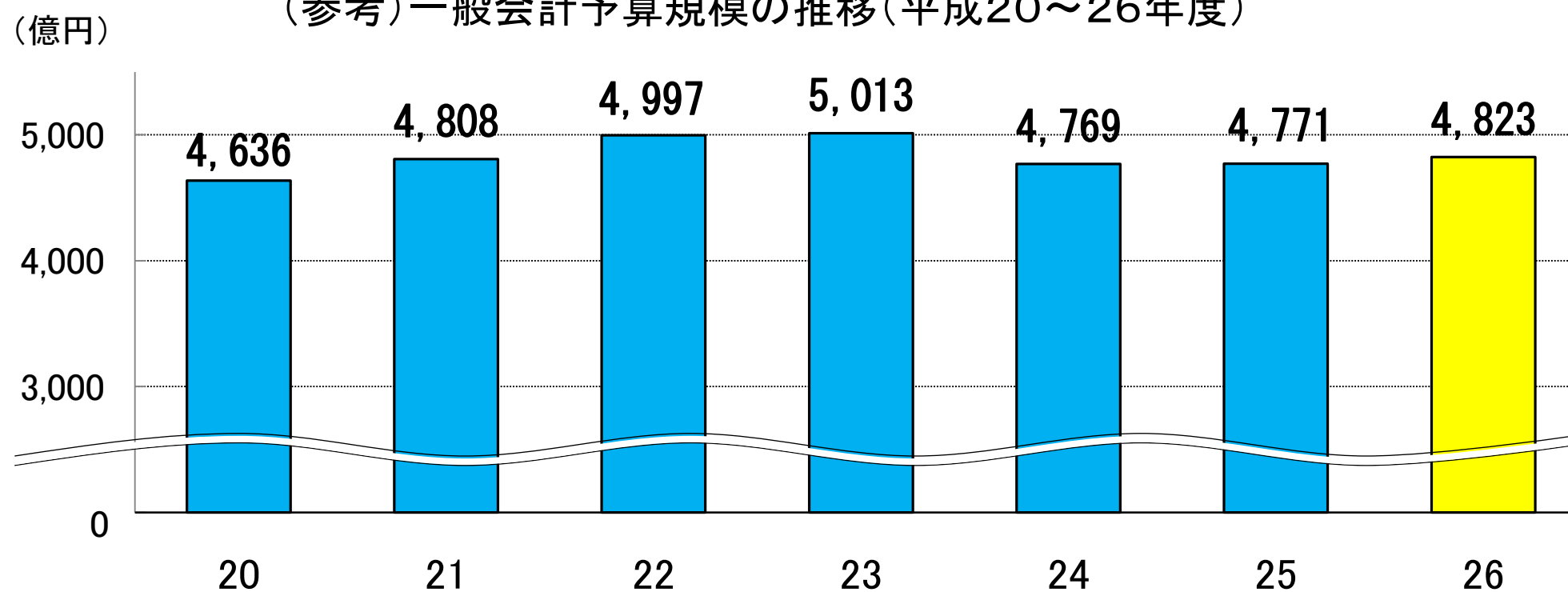
平成26年度当初予算の規模

◎ 一般会計の予算規模は **4,823億円** (対前年度比1.1%増)

(単位:億円)

会計	26年度 当初 ①	25年度 当初 ②	増減 (①-②) ③	伸び率 (③÷②)
一般会計	4,823	4,771	52	+1.1%
特別会計	121	136	△15	△10.6%
企業会計	382	324	58	+18.0%
計	5,326	5,231	95	+1.8%

(参考)一般会計予算規模の推移(平成20~26年度)



1 ふるさと福井が放つ「本物」戦略

- ① 「恐竜王国」を新たなステージへ
- ② 「和食」を活かしたブランド戦略の強化
- ③ 「里山里海湖」や水月湖「年縞」の保全・活用
- ④ 舞若道開通を好機とした嶺南・嶺北の一体化と観光戦略
- ⑤ 北陸新幹線開業を活かす誘客の拡大

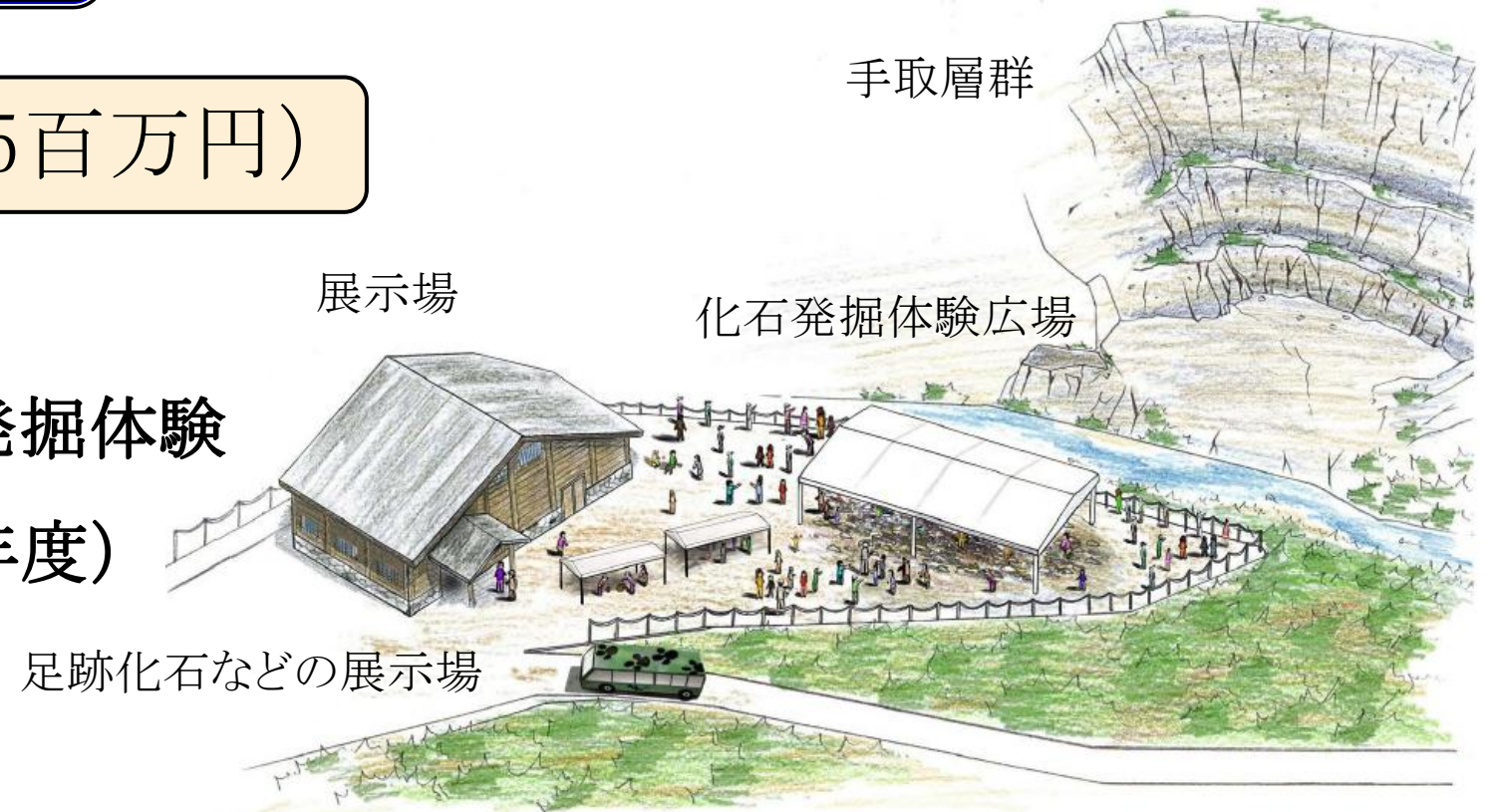
「恐竜王国」を新たなステージへ

野外恐竜博物館開館事業（55百万円）

- ・ 野外恐竜博物館 夏オープン

発掘現場のすぐそばで化石発掘体験

（事業費 3.3億円 25～26年度）



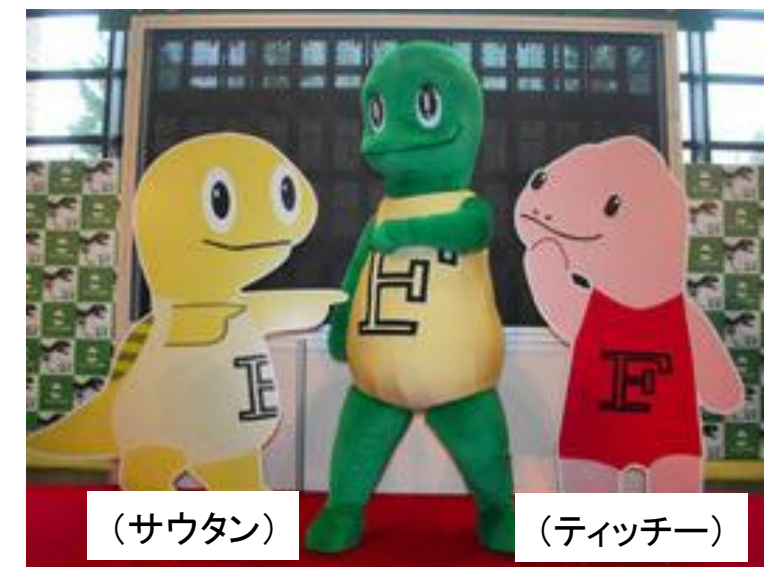
【 野外恐竜博物館（イメージ） 】

「恐竜王国福井」体験ツアー開催事業（8百万円）

- ・ 長期滞在型ツアーの開発および指導者の養成
- ・ 中京、関西などからの直行バス運行

恐竜ブランドビジネス化推進事業（22百万円）

- ・ 恐竜オリジナルキャラクターの活用



【 福井県恐竜ブランドキャラクター 】

福井駅広場恐竜王国ふくい推進事業（90百万円）

- ・ 福井駅の西口駅前広場に恐竜モニュメント3体を設置
- ・ スマートフォンによる恐竜の解説や立体映像を提供するソフトの開発



【恐竜モニュメント(イメージ)】



【立体映像ソフトの開発】

小松空港における恐竜王国福井の発信事業（27百万円）

- ・ 空港内に恐竜モニュメント設置、航空会社とタイアップし旅行商品を開発



「和食」を活かしたブランド戦略の強化

和食教育推進事業（40百万円）

- ・食育 石塚左玄の唱える「一物全体食」メニュー
小学5年生全員が「昆布だし」の取り方を学習
学校給食畑を全小学校に導入（～28年度）
- ・和膳 給食の食器に伝統的工芸品を使用
新1年生に箸を渡し正しい使い方を教える



【報恩講料理】

「福井の和食」継承・発展事業（3百万円）

- ・食守 県民が郷土料理を守る
小売店での郷土料理販売とレシピ配布
- ・「食の歳時記」作成（旬の食材や行事との結びつきを紹介）



【水ようかん】



【焼き鯖】

「福井の和食」発信事業（4百万円）

- ・大都市圏に旬の食材を売り込む「旬のふくい食彩フェア」を展開
- ・永平寺の本物の精進料理を体験するプレミアムツアーを開発



「里山里海湖」や水月湖「年縞」の保全・活用

「里山里海湖」研究活用推進事業（56百万円）

- ・ 里山里海湖の恵みを人々の暮らしに結び付ける研究
- ・ 親子自然体験などの環境教育
- ・ 保全・再生に頑張る地域や団体を応援



【里山里海湖研究所】



【里山里海湖出前講座】

水月湖「年縞」採取活用推進事業（57百万円）

- ・ 年縞コアを採取、加工、保存
- ・ 年縞の展示方法の検討



【年縞採取風景】



【年縞加工の様子】



舞若道開通を好機とした嶺南・嶺北の一体化と観光戦略

舞若道の県内区間の愛称決定
「若狭さとうみハイウェイ」



【小浜湾を望む加斗PA】

ふるさと交流による嶺南・嶺北一体化事業（8百万円）

- ・ 嶺北の小・中学校が行う嶺南における体験学習等を支援

「海湖と歴史の若狭路」発信事業（32百万円）

- ・ 記念イベントと中国・四国・東海等での出向宣伝

誘客目標 のべ100万人増

時 期	夏(7~8月)	秋(9~10月)
県	若狭歴史博物館開館と特別展 リニューアルした海浜自然センターの特別企画 レインボーライン半額キャンペーンの期間拡大(7~11月)	若狭路恐竜展 嶺南消費喚起キャンペーン
市 町	花火大会、漁火想、スーパー大火勢などナイトイベントの拡大 浜バーベキュー、スノーケリングなど体験催しの開催	OBAMA食のまつり 「鉄道と港」フェスティバル
その他	若狭路周遊スタンプラリー(各協賛店舗:7~11月)	秘仏特別公開(若狭の寺社) 秘仏めぐりバスツアー



若狭路恐竜展2014開催事業（29百万円）

- ・ 恐竜博物館が所蔵する復元全身骨格の展示

期 間：10月4日～11月16日



【フクイサウルス】

若狭歴史博物館開館事業（299百万円）

- ・ 常設展示を一新し博物館として開館
- ・ 開館記念特別展の開催



【若狭の仏像】

嶺南消費喚起キャンペーン事業（107百万円）

- ・ 観光客に消費額の1割分の地域特産品を進呈



【三方五湖・レインボーライン】

近代化遺産周遊バス運行事業（6百万円）

- ・ 旧北陸本線隧道などを活かした観光ルートの開発



【第二観音寺隧道】



北陸新幹線開業を活かす誘客の拡大

「恐竜が招く」誘客拡大事業（49百万円）

- ・ 上野駅における越前和紙恐竜の展示や物産の販売
- ・ 東京スカイツリーでの「恐竜王国福井」のPR
- ・ 北陸新幹線沿線駅や県内主要駅にダイノベンチを設置
- ・ 恐竜フィギュアを活用し出向宣伝や旅行業者への営業を強化



【上野駅での大型広告】

JR金沢駅内福井県観光案内コーナー 設置運営事業（7百万円）

- ・ JR金沢駅内に福井県観光案内コーナーの設置
観光コンシェルジュが本県の観光案内とPR



【恐竜フィギュア】

北陸デスティネーションキャンペーンを 活用した誘客拡大事業（19百万円）

- ・ 27年秋に北陸3県とJR各社が連携して開催



一乗谷朝倉氏遺跡景観向上事業（266百万円）

- ・ 復原町並や朝倉館跡・唐門が一望できる月見やぐら展望所の整備
- ・ 山城跡までの登山道の改善
- ・ 復原町並周辺から上城戸跡までを無電柱化



【 月見やぐら展望所の整備箇所】



【 無電柱化する上城戸跡までの区間】



2 活気を導く高速交通時代のまちづくり

- ① 北陸新幹線の早期開業
- ② 快適で利用しやすい鉄道の整備
- ③ まちなかの魅力アップ
- ④ 県都デザイン戦略の実行



北陸新幹線の早期開業

北陸新幹線建設事業（3,614百万円）

- ・ 鉄道運輸機構による高架橋工事、新北陸トンネル工事

新幹線埋蔵文化財発掘調査事業（482百万円）

- ・ 埋蔵文化財発掘調査の開始（福井市開発、高柳地係）



【北陸新幹線ルート】



【北陸新幹線車両】



快適で利用しやすい鉄道の整備

えちぜん鉄道・福井鉄道相互乗り入れ推進事業（1,020百万円）

- ・ 福井鉄道田原町駅の線路接続工事、えちぜん鉄道の低床車両の購入

路面電車走行空間快適化事業（135百万円）

- ・ 福井鉄道の路面軌道区間の石畳の敷設替やレールの改良

路面電車定時走行システム整備事業（99百万円）

- ・ 電車を優先する交通信号システムを導入し、路面電車の安全運行と定時性を確保

福井駅前・大名町交差点交通結節機能向上事業（45百万円）

- ・ 福井鉄道駅前線の延伸および大名町交差点の短絡線整備の詳細設計



【えちぜん鉄道】



【福井鉄道】



【福井鉄道:ドイツ製車両】
(26年3月デビュー)



まちなかの魅力アップ

観光まちなみ魅力アップ事業（789百万円）

<新規整備箇所>

（1）福井浜町

グリフィス記念館（仮称）の復元・整備等



【グリフィス記念館(福井市)】

(整備内容)

- ・福井初の洋館の再現
- ・グリフィス氏の功績の紹介
- ・米国・ニューブランズウィック市との交流の紹介



(2) 小浜西組周辺

三丁町の無電柱化などの景観整備や「まちの駅」の整備

(3) 今庄宿

昭和会館（国登録文化財）の改修、北国街道の景観整備

(4) 永平寺門前

石灯籠や案内看板設置による旧参道の散策環境を整備

< 継続事業（平成25年度から） >

あわら温泉街、敦賀金ヶ崎周辺、三方五湖周辺

おもてなし商業エリア創出事業（67百万円）

- ・ 中心市街地のにぎわいを創出する商業ゾーンの形成
商店街等の個店改築経費を支援



【三丁町無電柱化(小浜市)】



【昭和会館(南越前町)】



【永平寺門前】



県都デザイン戦略の実行

県都デザイン戦略推進事業（225百万円）

- ・ 山里口御門復元の実施設計、周辺の石垣解体調査
- ・ 歴史を活かした中央公園再整備への支援



【山里口御門(イメージ)】



【中央公園(イメージ)】



福井駅西口中央地区市街地再開発支援事業（247百万円）

福井駅周辺土地区画整理支援事業（252百万円）

- ・ 福井駅西口中央地区再開発ビルおよび福井駅西口駅前広場の整備を支援



【福井駅西口の整備計画】



3 新たな挑戦を生む産業政策

- ① 「売り方改革」と新成長産業の支援
- ② 新たなアジアビジネス戦略
- ③ ふるさと産業の新展開
- ④ 高い収益性の「商いコメづくり」
- ⑤ 嶺南地域の大規模園芸支援
- ⑥ 獲って儲かる水産業



「売り方改革」と新成長産業の支援

オリンピック・国体用品販路獲得事業（2百万円）

- ・ 福井国体や東京オリンピックに向け、本県の優れた製品の販路開拓を支援



【ランニングシューズに使用されているニット】



【スポーツ用淡色偏光サングラス】

県産品売る力強化事業（9百万円）

- ・ 専門家の直接指導による企業の「売る力」強化
- ・ 商品の魅力のストーリー化とセールストークなどの販売ノウハウ向上による「言える化」



医療産業創出支援事業（18百万円）

- ・ 繊維・眼鏡などの加工技術を活かした医療関連製品の開発を促進
- ・ 企業の医療学会や機器展示会への出展を支援



【医療現場における説明会】

炭素繊維の世界市場獲得事業（108百万円）

- ・ 炭素繊維複合材料の量産・大型成型技術の確立に向けた研究開発を加速
- ・ 世界最大級展示会（JEC）への福井県ブース出展による販路拡大



【炭素繊維（ロール）】



【JEC展（パリ）の様子】



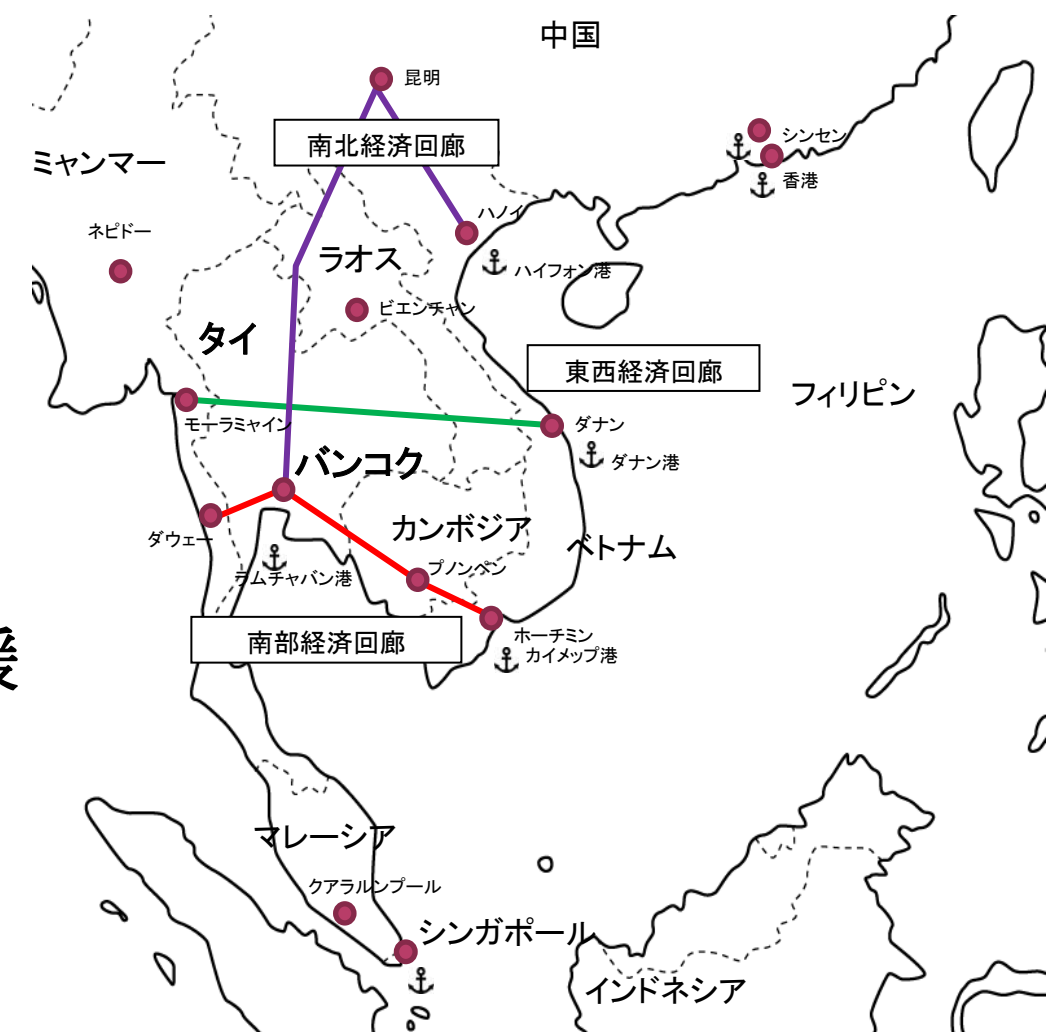
新たなアジアビジネス戦略

ふくいバンクビジネスサポートセンター運営事業（19百万円）

- ・ バンコクに企業の東南アジア展開のサポート拠点を設置
 県内企業の拠点開設・販路開拓支援
 ビジネスコーディネーターによる専門的支援
 県内への観光客誘致 等

東アジア観光客誘致拡大事業 （21百万円）

- ・ 東南アジアから県内に宿泊するツアーへの支援
- ・ タイからの誘客強化
 企業が実施する社員向け報奨旅行の誘致
 タイ語の観光パンフレット作成 等



【 東南アジア 】



ふるさと産業の新展開

越前ものづくりの里プロジェクト（21百万円）

- ・ 伝統的工芸品産地の連携により、デザイン力のある職人を育成（P 3 6 に再掲）
- ・ 産地の活性化の推進

「見せる」	産地の工房見学や工芸体験
「売る」	旅館と連携した伝統的工芸品の販売
「広げる」	産地を組み入れた観光ルートの設定



【産地における職人の養成】



【工房の見学】



高い収益性の「商いコメづくり」

水田農業大規模化・園芸導入事業（200百万円）

- ・ 100ha規模の営農組織を育成（メガファーム化）
- ・ 10haを超える規模拡大と法人化の推進
- ・ 水田を活用した園芸経営の導入を促進



【水田農業の大規模化】

農地中間管理事業（105百万円）

- ・ 担い手への農地の集積・集約を促進

土に有機を福井の水田パワーアップ事業（4百万円）

- ・ 「秋の田起こし」の実施
- ・ 土壌分析に基づく有機系肥料の土づくり

「福井発コシヒカリ」全国作付面積日本一 30周年記念事業（7百万円）

- ・ 「コシヒカリを産んだ福井県」を全国に発信



【水田を活用した園芸（ネギ栽培）】



嶺南地域の大規模園芸支援

自然光利用型の連棟ハウス整備事業（120百万円）

- ・ 自然光を利用した通年出荷型大型ハウスの整備を支援



【連棟ハウス】

「次世代大規模施設園芸」整備事業 (751百万円)

- ・ 生産から調製、出荷まで一体的に行う
園芸団地の整備を支援



【大規模温室でのトマト栽培】



獲って儲かる水産業

水産加工施設総合振興事業（804百万円）

- ・大漁時、一度に多く獲れた魚や未利用魚の有効活用
水産加工施設の整備を支援



【大漁の水揚げ】



【水産物の一次加工】



4 「幸福共感」、楽しむ福井の暮らし

- ① 女性がさらに輝く社会の推進
- ② 次の世代を育む結婚・子育て対策
- ③ 高齢者の生きがいづくりと在宅ケアの推進
- ④ 国体開催に向けたスポーツ振興
- ⑤ 原子力防災の充実強化



女性がさらに輝く社会の推進

ふくい女性活躍支援センター強化事業（10百万円） 働く女性の活躍支援事業（3百万円）

- ・子育て支援や企業情報の提供による再就職支援の充実
- ・企業などでリーダーとなる人材の育成



【子育てや再就職などの相談】

働く女性のがん検診推進事業（22百万円）

- ・土日・祝日に「がん検診レディースデー」を実施
- ・新たに子宮がん、乳がん検診を実施する事業所に検診費用を助成



【マンモグラフィー】

ゆとりある働き方と子育ての実現プロジェクト（20百万円）

- ・0歳児育児休業応援企業奨励事業の更なる拡大（50社→70社へ）
- ・育児短時間勤務期間に出産した場合の育児休業給付を上乗せ



次の世代を育む結婚・子育て対策

ライフステージに応じた少子化対策事業（18百万円）

- ・結婚支援

結婚相談員、地域の縁結びさんによる若者の出会いの創出
若手社会人や婚活をする若者へのセミナーの実施
スポーツによる健康づくりを通じた交流の促進

- ・妊娠・出産支援

男性の不妊治療への助成



【 出会い交流会 】



高齢者の生きがいづくりと在宅ケアの推進

高齢者元気活躍支援事業（3百万円）

通所介護事業所等における

農作業活用促進事業（3百万円）

高齢者地域交流ウォーキング事業（2百万円）

- ・地域住民とともに実施するボランティア活動や、健康づくり活動を支援



【事業所での苗植え】

在宅医療・介護連携推進事業（44百万円）

- ・坂井地区の在宅ケア体制をさらにレベルアップ
- ・全市町にコーディネーターを配置し、在宅ケア体制を整備



【在宅ケア】



国体開催に向けたスポーツ振興

福井しあわせ元気国体・大会開催準備事業（56百万円）

- ・ 県民総参加の「福井しあわせ元気国体・大会」の開催に向けた各競技や開・閉会式などの準備



【東京国体開会式】

競技力向上対策事業（418百万円）

- ・ 国体に向けて計画的に選手を強化

特別コーチや優秀なフィジカルコーチによる指導を充実



【スーパーアドバイザーによる指導】



福井運動公園整備事業

(3,127百万円 継続費5,177百万円 債務負担行為1,860百万円)

- ・ 国体のメイン会場
県営体育館、陸上競技場等の整備に着手



【新しい県営体育館（イメージ）】



【福井運動公園全体（イメージ）】



原子力防災の充実強化

半島部臨時ヘリポート整備等事業（61百万円）

- ・半島部の臨時ヘリポートを整備
アスファルト舗装、照明器具設置等



【ヘリによる住民避難訓練】



【ヘリポート(イメージ)】

原子力防災センター代替施設整備事業（80百万円）

- ・生活学習館を原子力防災センターのバックアップ施設として整備

原子力防災における住民避難対策補助金（300百万円）

- ・住民への伝達手段体制の整備、
避難所のバリアフリー化等を支援



【防災ラジオ】



【避難所のバリアフリー化】



5 未来に希望の人づくり

- ① 世界に通じる英語教育・サイエンス教育
- ② 人や企業の誘致と次世代を担う人材育成
- ③ ふるさと文化・教育施設の整備



世界に通じる英語教育・サイエンス教育

英語力向上事業（62百万円）

- ・ 英語を「話す」「聞く」ことを重視した授業に見直し
- ・ 新たに英語教育推進重点校（スーパーグローバルハイスクール）を指定



【英語で自分の意見を発表】

自分の考えをきちんと表現できる
「使える英語力」を育成

福井テクノロジーアカデミー事業 （7百万円）

- ・ 日本を代表する技術者等による高校生向けのテクノロジーゼミなどを開催



【最先端の科学実験】



人や企業の誘致と次世代を担う人材育成

ふくいe-オフィスプロジェクト（4百万円）

- ・ウェアラブルコンピュータなどの県外IT関連企業の誘致補助制度を創設
- ・国体などの活用につながるウェアラブル製品の実証実験を支援



仮想画像が見られる

【ウェアラブル機器の例(眼鏡)】

(※)ウェアラブル機器 メガネ型や時計型など身に着けることができる機器

越前ものづくりの里プロジェクト (21百万円) [再掲]

- ・「伝統工芸職人塾」を開設し、後継者を育成



【越前和紙職人の養成】



園芸経営者誘致事業（14百万円）

- ・ 就農希望者に就農情報をまとめた就農セットプランの提供
- ・ 東京、大阪、名古屋において就農セミナー開催
- ・ 県外出身の農業研修者に奨励金給付

ふくい園芸大学校研修事業（51百万円）

- ・ 施設園芸や露地栽培の模擬経営研修
- ・ 園芸を導入する集落営農組織向け実践研修

養殖業振興対策事業（30百万円）

- ・ 新規就業希望者への実践研修
- ・ 魅力ある魚種生産や先進的手法による生産拡大の支援



【メロンの栽培技術研修】



【養殖用いけす】



ふるさと文化・教育施設の整備

福井ふるさと文学館(仮称)整備事業(596百万円)

- 郷土文学に触れ、親しむ施設を県立図書館内に整備
27年2月開館

<整備内容>

25～26年度 文学館の整備工事等
26年度 展示工事等



【福井ふるさと文学館(仮称)イメージ】



青少年体験活動施設整備事業(201百万円 継続費2,091百万円)

- ・ 芦原青年の家を移転整備
28年10月開所

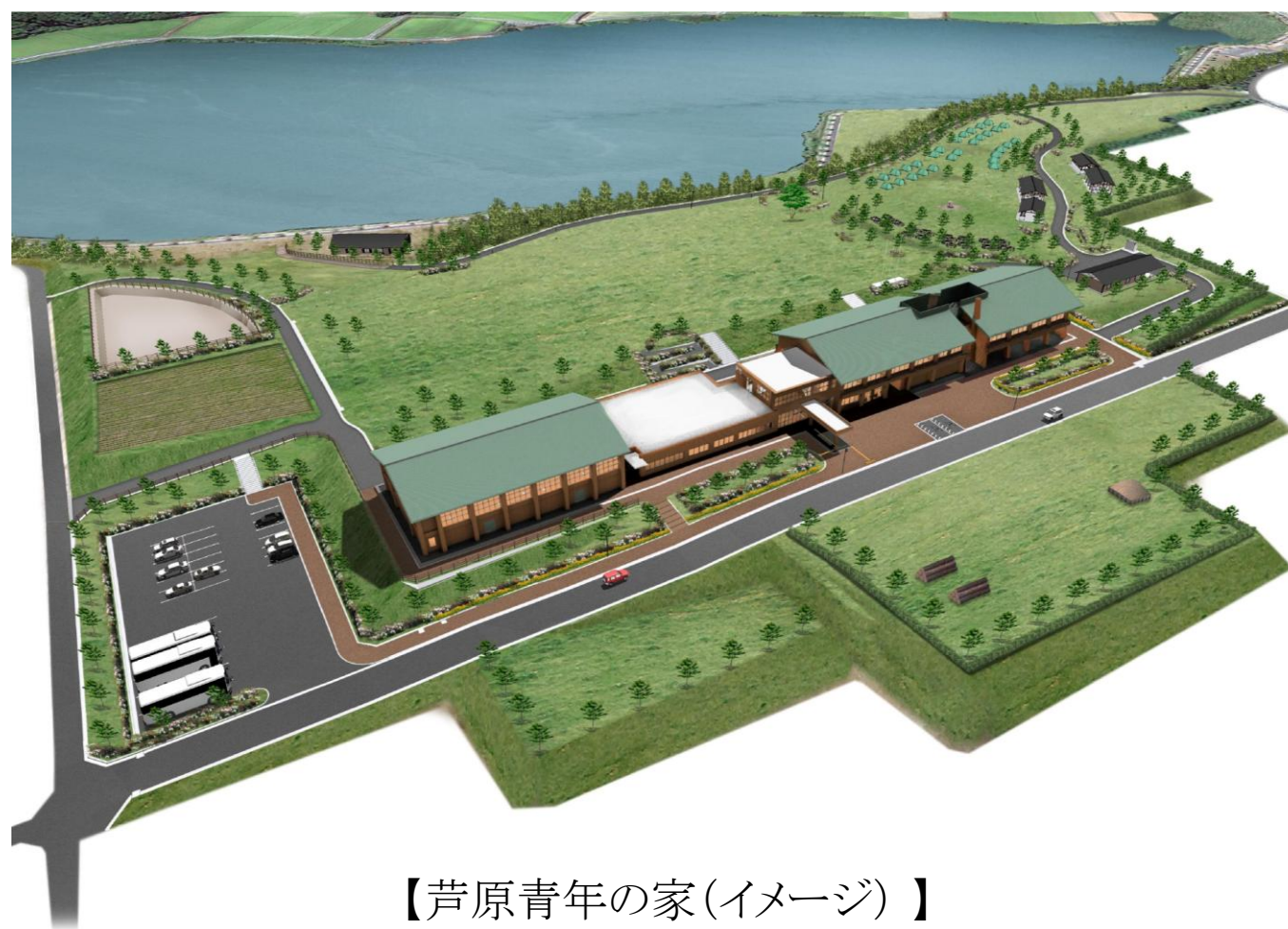
<整備内容>

26年度

実施設計・建設工事

27～28年度

建設工事等



【芦原青年の家(イメージ)】



坂井高等学校の施設等の整備(1,670百万円)

- 坂井地区の総合産業高校として整備
26年4月開校

<整備内容>

25～26年度 工業実習棟の建設
26～27年度 校舎耐震改修・備品整備等



【坂井高等学校テクノラボ(イメージ)】



平成25年度2月補正予算の概要

○国補正に伴う経済対策

2 1 3 億円

▪ 公共事業の実施

1 4 1 億円

(自然災害に備えた河川・道路の防災対策や社会資本の老朽化対策等)

▪ 国体に向けた福井運動公園の整備

1 1 億円

▪ 放射線防護対策など原子力防災対策

2 2 億円

▪ 基金の積立

3 6 億円

○一般会計の予算現計は

4, 8 5 3 億円

